

# 保健福祉局

一般会計要求額 146,869百万円  
(対前年度予算 +1.8%)



人権の約束事運動  
マスコットキャラクター  
モモマルくん

## ◆◆◆要求の基本的な考え方◆◆◆

保健福祉局では、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で継続して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

平成28年度は、こうした構想を具現化していくための科学的実証や要援護者を取り巻く実態把握・分析に取り組むとともに、「地域包括ケアシステム」の5つの要素（医療・介護・介護予防・住まい・生活支援）のうち、「医療」「介護」については在宅支援に向けた方向付けを行い、「介護予防」「住まい」「生活支援」については、今後、地域資源が創出されるよう環境づくりを行っていきます。

### 1 地域福祉・高齢者福祉の推進

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、地域社会が一体となった見守り・支え合いのネットワークを更に充実させ、「第四次北九州市高齢者支援計画」に基づく高齢者政策を推進して「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

◎地域包括ケアシステム構築に向けた検討	7百万円	【総務課 他】
○認知症疾患医療センター運営事業	11百万円	【認知症対策室】
◎認知症支援・介護予防センター運営事業	18百万円	【健康推進課】
◎介護予防・生活支援サービス事業【介護特会】	636百万円	【いのちをつなぐネットワーク推進課】 など

### 2 障害者政策の推進

障害があっても、その人らしく生活できる社会の実現に向けて、「北九州市障害者支援計画」に基づき、市立障害福祉施設の再整備を図るとともに、差別解消による人権の尊重など、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを推進します。

○総合療育センター再整備事業	259百万円	【障害福祉課】
○障害者差別解消法推進事業	35百万円	【障害福祉課】
○障害者ワークステーション事業	5百万円	【障害者就労支援室】
◎平成28年度北九州市障害児・者等実態調査事業	7百万円	【障害福祉課】 など

### 3 健康の維持・向上と地域医療の充実

「北九州市健康づくり推進プラン」や「第二次北九州市食育推進計画」に基づいて、市民の自立的・主体的な健康づくり活動を支援するとともに、科学的実証に基づく介護予防を展開していきます。また、在宅医療を中心とした地域における医療提供体制の整備を図ります。

◎認知症支援・介護予防センター運営事業（再掲）	18百万円	【健康推進課】
○地域リハビリテーション活動支援事業【介護特会】	36百万円	【健康推進課】
◎難病患者支援体制推進事業	25百万円	【障害福祉課】
◎在宅医療普及推進事業	7百万円	【保健医療課】
2025年に向けた地域医療構想調査・研究事業	1百万円	【保健医療課】 など

### 4 保健・衛生管理体制の充実

市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、感染症対策や食の安全の確保など、保健・衛生管理体制の更なる充実に取り組みます。

○結核・感染症発生動向調査	13百万円	【生活衛生課】
◎（仮）くらしの衛生対策推進事業	2百万円	【生活衛生課】
○細菌検査	5百万円	【保健予防課】
犬猫致死処分ゼロ対策事業	20百万円	【動物愛護センター】 など

## ◆◆◆主な特別会計◆◆◆

◆国民健康保険特別会計	(予算要求額	133,637百万円)
◆介護保険特別会計	(予算要求額	92,977百万円)
◆後期高齢者医療特別会計	(予算要求額	15,842百万円)